

別府銘水

處女泉

別府水・銘泉・炭酸礦泉・銘水リネターなどと呼んぬ。天然の炭酸銘泉
は、無色透明。無臭で泉質は清冽なため、飲料水・天然湧水薬劑として売ら
れる。この銘水は塚原の硫黄山に産する銘泉で、別府の祖老地として有名な
なつた明治中期以後販売されるようになったり、明治末期には重要な土産品にな
つていた。

明治三九年（一九〇六）別府南町にあった鶴水商會が売りに出した鶴印別府

水の広告（明治三九年、別府南町）
（社刊別府南町）
色見ると、

鶴印別府水

△別府水は別府礦泉として製出せらるる東洋唯一の最好飲料にして、内外の好
料を博せり。

△別府水は、透明無臭無臭なる天然の炭酸礦泉にして、泉質清冽なること

比類なし

△別府水は、炭酸を含有し、日常の飲料として消化を補う健胃の効甚はた

至大なり

△別府水は、^{「ウイスキー」}葡萄酒其他酒類水等に混和す水は香気を失はず
同味殊に宜し。

△別府水は即婦人小児方のみならず、製あり、甘味を有し口當り
最良よし

△別府水及び別府水よりセナーデ^レは、如何程日数を經るも腐敗変化等の
憂ひなし

△別府水及び別府水よりセナーデ^レは即進物殊に夏季おみやげ等には最良
適当なるものなり

△別府水及び別府水よりセナーデ^レは各處至る處有名なる食料店洋酒店等
にあり。

と記す水ている。鶴水商會は南町に製造部あり、別府港町に販売所ありつ
た。

その後、大正期に入つてからは、製造会社や販売店が急増して来た。大正



安達鑛山 (昭和14年-1925)

扱所を設けて大量生産に乗り出した。原料の鉱水は、別府市外由布院の東北、
 運具郡北由布村塚原硫黄山産出の鉱水を採った。採集場付近の状況に「い
 こ」転地塚原硫黄所概況書（昭和四十六年六月）倉院軍（昭和四十六年六月）
 塚原硫黄所一伽藍岳硫黄山、西ノ中腹ニアリ、奈良
 朝時代ノ天平年間、行基菩薩ノ開創ト傳ヘラル。

此料ノ硫黄明礬水ヲノゾ收斂作用ニ倚ミ、皮膚病
 梅毒等ニ特效アリ。以テ、救ヒイ險シイ山中温泉
 ニ拘ラス、常ニ病人娯集セリ。旅館ハ三軒程アリ
 元夏季ハ満員ノ為メ相シ又事アリ。山腹一帯ノ焼
 石原カラ濠々ト硫黄ヲ吹キ立テ、佛鏡焦熱シ他獄、
 絵巻ヲ宛ラシ觀ル感アリ。名高キ別府鉱水ハ、此
 焼石原ノ岩井ノ中ニ冷ハテ結成シ夕明礬水ヲ採集
 セルモノデ、採集ノ有様モ不壯烈ナリ。



険しい山道を登り、危険をおおして採集した。採集した鉱泉は稀やウンム

ケハ炭物で造つた液体を入小子壺を馬の背

に乗せて運搬し明礬温泉場に集め、そこから

は馬車で別荘や急川の集荷所に運んだ。(急川

急川の場合高山鉱泉所)

馬車で運ぶのは鉱水は、鉱水かたに野水し

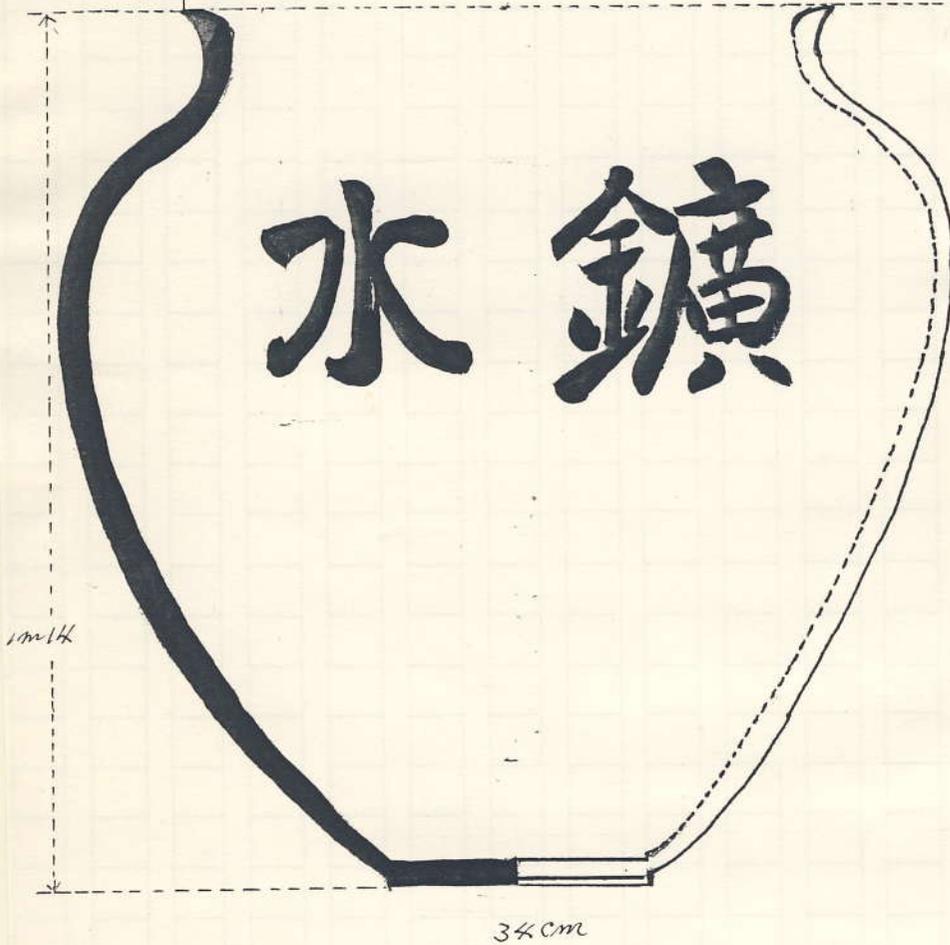
たあとに特殊な方法で精製、内服用或いは外

用として効能顯著な天然湯泉を新製して

して売り出したり、清涼飲料水として売り出

したりした。

(大 24cm) 口径
(小 7cm)



製造所
に集荷用に使
つた鑛水か
メは非常に
大きな口
のび、高
さは一
一回は

鑛水瓶 (こうすいびん) 昭和5年(1930)頃使用、
この鑛水瓶は、鬼川の濠用鑛水投所で使用したもので、
(別府教育史料館蔵)

北米合衆国にか	全、満州、南洋	分は勿論、日本	販路は別府、大	のびある。	所て使用さ小口	濠川の高山鑛泉投	いさひは、鬼川	ここの図示さ小	三四センチであつた。	四センチ、瓶部の径は	四センチ、鏡か、口は七	随内は長い方は八	高さは一 一回は
---------	---------	---------	---------	-------	---------	----------	---------	---------	------------	------------	-------------	----------	-------------

昭和初期は別府が観光都市として飛躍した時期であった。昭和元年（一九

二六）の南小学校・野口小学校の独立、エンプレス・オガスコットランド号の来

泊。昭和二年（一九二七）の亀川温泉新築・ひょうたん温泉新築。昭和三

年（一九二八）のエンプレス・オガスコットランド号、フランクニヤ号の入港。

甘利の入港。亀の井自動車会社創立。湯跡東西温泉の合併と改築。市公会堂

の完成。中外産業博覧会の開催などは特筆すべき出来事である。このようにな

天下の鐘泉
別府の勝地
其名に恥ざる別府鐘泉會社
精製の……

スプリングボード
別府サイダー
ツルミサイダー

大別府鐘泉株式會社
大分縣別府市水石通六丁目
電話三三二二三番

時期だったから別府鐘

泉（鐘泉）名産としてその花

上高をふやしていった

別府鐘泉株式會社が

は社名を「大別府鐘泉

株式會社」と名稱と変更

し、現標を拡大して光

力宣伝にかりたい。

昭和六年（一九三一年）に発行した『スター』には

「天下の鏡泉

別荘の勝地

其名に非ざる別荘鏡泉会社精製の……

スプリングボード、別荘サイダー、ツルミサイダー

大別府鏡泉株式会社

大別府別荘市永在通六丁目
電話 三三三三番

と記されている。（昭和六年三月の週報別荘案内）

別府鏡泉の量産販売はその水以後の続く。昭和一〇年（一九三五年）には亀川

町・朝日村・石垣村を合併して大別府市として飛躍。昭和一二年（一九三七年）

には国際観光大博覧会が開かれ、その水たから口がある。大陸の観光は拡大したので

大別府の観光地として発展した。その水は別府市長の観光にかけざる意欲がけ

て、別府の観光地として発展した。その水は別府市長の観光にかけざる意欲がけ

て、別府の観光地として発展した。その水は別府市長の観光にかけざる意欲がけ

響したのである。昭和に入つてからの著名鉱泉取扱機関は、青山町の別府金
鉱泉商会、流川通りの別府鉱水高山繁本店、流川浜田町の高山鉱水扱所、永
石通りの別府温泉株式会社、国武合名会社などであつた。

国武合名会社が昭和十年（一九三五）以後に製造販売した「處女泉」は、
觀海亭温泉（含炭酸單純泉）を加工したものである。製品は市内の商店や

会社で販売されたが、人気は徐々に一般の人氣を博し、その産額は年産七百万
から一千万に達した。その後、昭和十三年度になつて清涼飲料として、中

支・北支に大量に輸出された。この處女泉は、源泉・炭酸（液化炭酸）、サイジ
ン（^{サイジン}製造）の三種あり、容器は約四〇〇グラム入の瓶詰であつた（^{小倉陸軍病院報}地療養所概況書）

また、由布山腹より噴出する噴氣を天然純粋蒸留液をその主な医薬品とし
て販売した。『^{地療養所概況書}』には

別府礦水、製造元 由布山、…（中略）…

主治効能 慢性胃腸カタル、胃擴張、腸胃弛緩症、食思缺乏、食傷、腹痛
下痢、腺病性疾患、結核性腸疾患、糖尿病、慢性化膿症、マラ

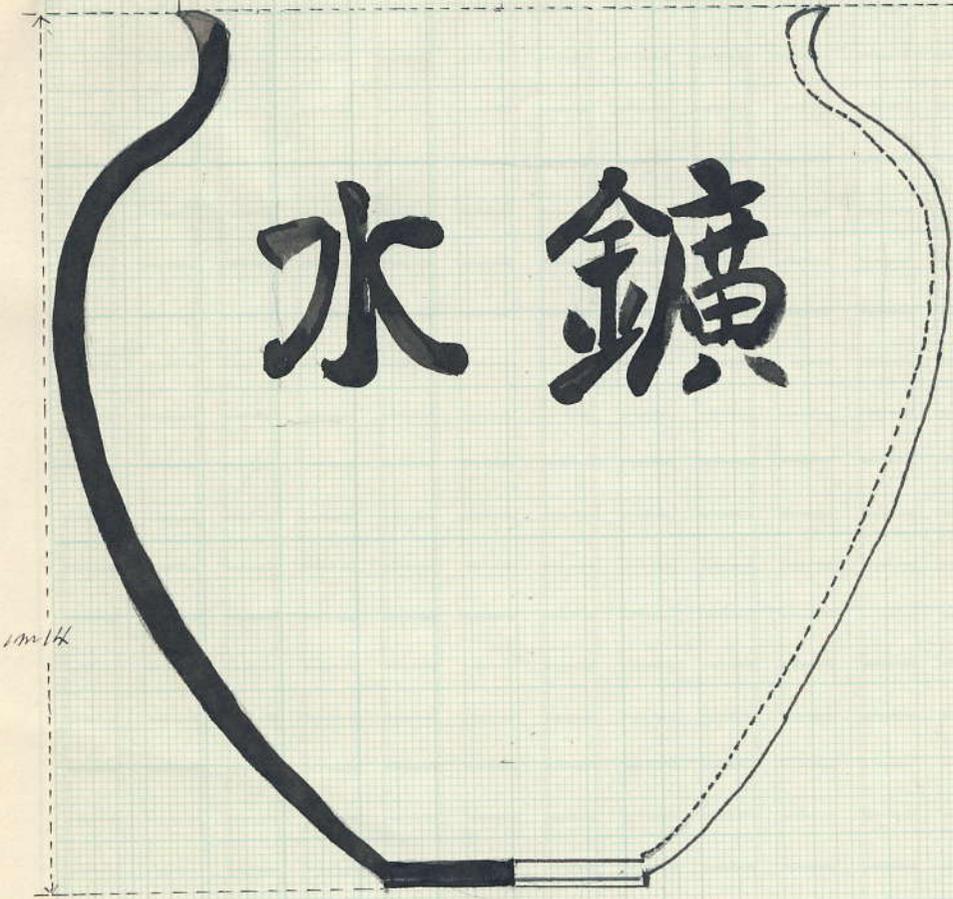
とある。

リ、感冒、胃潰瘍、婦人生殖器病、其他外傷及膚疾患等萬病

効能ヲ確列シアリ

戦後になつたから、別府松水の経営状況は以前に復するとはなかつた。細々と經營する形態となつたのである。それは、戦後生活難のため観光客が激減したことに、新しい飲料品目が開発されたことなどから大きな原因であらう。

大 8.4cm
小 7.4cm



3.4cm

鉢 ハチ

水 スイ

瓶 ビン

(美川流曰瓶水乃高小樽使用)

(註)

一 総高 二四センチ

一 口径 小八 四センチ

一 銘 瓶水 (甘ハニキカ)

一 経歴

(1) 製造所 不明

(2) 魚川 沢田 鏡水 扱所
高山 蔵繁

(3) 梓葉市 八坂 字中
秋吉 恒治

秋吉 潔

秋吉 定

秋吉 定

(4) 別府市 上原町 三十一番 (昭和三十八年)

別府教育史料館
安部 巖

一 容量 二石三斗 (概)

備考

一 備考 魚川から瓶水を梓葉と売りに来たといふ。自給専用、定規器は焼物ウケニスス。

鶴印別府水店告

告 廣

鶴印別府水

- ▲別府水

は別府鎮泉にて製出せらるゝ東洋唯一の最好飲料にして内外の高評を博せり

は透明無色無臭なる天然の炭酸礦泉にして泉質清冽なること比類なし

は炭酸を含有し日常の飲料として消化を補け健胃の効甚はた至大なり

は「ウイスキー」葡萄酒其他酒類水等に混和すれば香氣を失はず風味殊に宜し

は御婦人小供方の爲めに「リモナー」製あり甘味を有し口當り最もよし

及び別府水「リモナー」は如何程日數を経るも腐敗變化等の憂ひなし

及び別府水「リモナー」は御進物殊に夏季れみやば等には最も適當なるものなり

及び別府水「リモナー」は各地至る處有名なる食料店洋酒店等にあり



賣捌元

鶴水商會
販賣部

別府港町



製造元

鶴水商會
製造部

別府南町



鶴水商會
販賣部

別府港町



鶴水商會
製造部

別府南町

明治三十九年六月一日
住 萬平橋、別府實況社
別府實況社

大別府鑛泉株式会社廣告



昭和六年三月三十日

別府商工会議所発行、温泉の別府案内

店商實確るあ用信

服 吳	飲料	泉鏡	草煙	頭銀... 飴子葉... 煉柚	物履	業別
港仲 流川 通町	永石 通町	青山 通町	仲	同濱 胸海 町岸	同濱 川通 町	中濱 川通 町
森野 百ヲ 吳ヤ 服服 店店	別府 鏡泉 株式 會社	別府 鏡泉 株式 會社	淺利 喜兵 衛元 賣捌 所	富士 溫 堂	高濱 大 屋	菊池 温 園
三四 三五 八五	三二 三三	四〇 四六	二〇	四六 四四	七三 七八	七〇 六一 四二 五一
物 乾	物 金	油香	具玩	酒洋	器陶	服 吳
中濱 老通 角町	濱彌 臨生 新町	中濱 原通 町	稻荷 町角	同松 原通 町	南港 埋立 地町	中濱 川通 町
梶井 原上 義龜 男太 商商 店店	藤澤 熊四 太郎 商商 店店	松山 元文 助金 物物 店會	河合 百造 金物 物店	ナル ミヤ 香油 店	西尾 本玩 具店	福本 玩具 店
五三 七三 一五	一六 二七 八三	五六 六五	七一 一〇	二二 二四	四二 二六	二〇 二六
						利光 律次 本店
						藤澤 德太 郎洋 酒會
						福本 モス リソ ン服 店
						江藤 吳服 店
						中村 キヤ 吳服 店
						ツル キヤ 吳服 店
						五三 四四 四五

別府の鏡泉・鏡水取扱所一覧

最新
新別府案内

大正十三年八月一日發行、稗田武士著

○ 別荘協栄株式会社 電 三三三番

製造元

大乙 14.8.16

○ 子道協栄所 電 六四三番、本完七三番、立田所 大乙 14.8.16

赤玉ボート
四ツ角廿夕一 製造元

○ 協水商會 別荘南町 — 協水別荘水製所

製造元

○ 協水商會 兼以老印 — 別荘北町 — 協水

協水

M.39.6.1

協水商會



番分 号類	備考	要 項	状 態	調 査		年 代 西 歴	位 置		名 称
				月 日	調 査 者		所 藏 者	位 置	
	474 57.5.12 複写			昭 和 五 十 七 年 九 月 十 日	安 部 巖	年 () 年 () 月 () 日	別府町	松葉書房の原庄(安部)表	別府原水邊般
記 整 号 理					日	目	復 製		
第									
号									